



腫瘍内科部長
采田 志麻

最近のトピックス Topics

免疫チェックポイント阻害薬

免疫チェックポイント阻害薬 (Immune Checkpoint Inhibitors : ICI) は、近年のがん治療に大きな変革をもたらした抗悪性腫瘍剤です。従来の抗がん剤や分子標的薬が「がん細胞そのものを直接攻撃」するのに対し、ICIは「患者自身の免疫力を活性化して、がん細胞を排除させる」点に特徴があります。

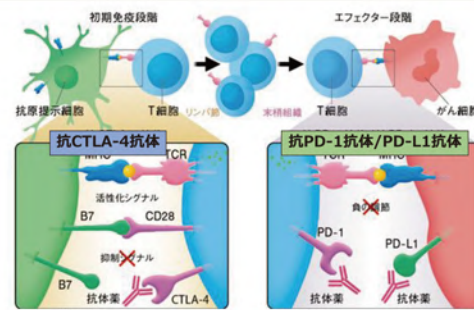
私たちの免疫系には、暴走して自己組織を攻撃しないようにする「ブレーキ機構」が存在します。代表的なのがCTLA-4とPD-1/PD-L1経路です。CTLA-4は、T細胞が活性化する初期段階でブレーキをかける分子です。イピリムマブなどの抗CTLA-4抗体はこのブレーキを解除します。PD-1は、活性化したT細胞が末梢でがん細胞などを攻撃する際に、過剰な反応を抑えるスイッチです。がん細胞はこのPD-1と結合するPD-L1を表面に発現させることで、免疫攻撃をかわしてしまいます。ニボルマブ、ペムブロリズマブなどの抗PD-1抗体やアテゾリズマブなどの抗PD-L1抗体は末梢でのがん細胞による免疫エスケープを解除します。これによりT細胞の抗腫瘍活性が回復し、従来では制御できなかった進行がんの効果を示すことがあります。多くの癌腫で有効性が報告されています。

ICIは従来の薬と異なり、少数の患者さんで「劇的に効いて長期生存が得られる」ことがあります。その一方で、効果が出るかどうかは患者さんごとに差が大きく、PD-L1発現の程度などのバイオマーカーが指標として用いられています。

ICIの副作用は従来の抗がん剤とは異なり、免疫が過剰に活性化して自己組織を攻撃してしまうことが問題となります。これを「免疫関連有害事象 (irAE)」と呼びます。頻度が高いのは皮疹、下痢・大腸炎、甲状腺機能異常などです。重篤例としては肝炎、肺炎(間質性肺炎)、下垂体炎、糖尿病、

心筋炎などが報告されています。発症のタイミングは投与開始後数週から数か月が多いですが、治療終了後に遅れて起こる場合もあります。治療の第一選択はステロイド投与で、必要に応じ免疫抑制薬を追加します。

このように、免疫チェックポイント阻害薬は、がん治療において「免疫のブレーキを外す」という新しい発想の薬剤で、従来の治療では得られなかった長期生存を実現する可能性があります。一方で、自己免疫性の副作用を引き起こすため、がん専門医だけでなく多職種での副作用管理が欠かせません。特に原因不明の炎症性症状を見たときに「ICIによるirAEの可能性」を念頭に置くことが重要です。



Ribas A. N Engl J Med 2012;366:2517-9.より改編

ターゲット/作用機序	薬剤一般名	商品名	主な適応となる疾患
抗PD-1抗体/ T細胞上のPD-1を遮断	ニボルマブ	オプジーボ	肺がん、悪性黒色腫、胃がん、腎細胞がん、頭頸部がん、ホジキンリンパ腫、MSI陽性がん [※] など多数
	ペムブロリズマブ	キイトルーダ	
抗PD-L1抗体/ がん細胞やその他免疫関連細胞上のPD-L1を遮断	アベルマブ	バベンチオ	腎細胞癌、尿路上皮癌など
	デュルバルマブ	イミフィンジ	肺がん、肝細胞癌、胆道がん
	アテゾリズマブ	テセントリク	肺がん、肝細胞癌など
抗CTLA-4抗体/ T細胞活性化段階/ブラ イミング期に關与する ブレーキを解除	イピリムマブ	ヤーボイ	悪性黒色腫、肝細胞がん、腎細胞がん、原発不明がんなど
	トレメリマブ	イジウド	肝細胞癌

※MSI:マイクロナサテライト不安定性

理念

私たち
くまもと森都総合病院は
質の高い医療を通じて
地域に愛され、親しまれる
病院を目指します。

基本方針

1. 患者さんとの良好なパートナーシップを築き、満足度の高い、心かよう医療の提供に努めます。
2. 地域医療機関との連携を密にし、地域に根ざした医療サービスを推進します。
3. 優れた医療人を育成し、安全で質の高い医療を提供します。



KUMAMOTO
SHINTO
General Hospital

つながる医療。ひろがる未来。

医療法人 創起会

くまもと森都総合病院

〒862-8655 熊本市中央区大江 3-2-65

TEL 096-364-6000 (代表)

FAX 096-362-5204

https://www.k-shinto.or.jp



高岡 宏和部長

診療科紹介 リウマチ・膠原病内科

診療内容

2012年4月1日よりリウマチ膠原病内科を開設し、高岡宏和と宮村智裕（総合診療科）のリウマチ専門医2名体制で約1000名の患者さんの外来および入院診療を行っています。関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症、成人発症ステイル病、血管炎など炎症性疾患および全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、混合性結合組織病、ベーチェット病、乾癬性関節炎、体軸性脊椎関節炎といった膠原病内科の疾患を中心に他科と連携をとりながら診療にあたっています。

原因と治療

関節リウマチや全身性エリテマトーデスは主に若い方に多い病気ですが、近年はご年配の方にもみられるようになりました。関節リウマチは遺伝する病気ではなく、たばこや歯周病などが原因の一つと言われています。リウマチ膠原病は治りにくい病気ですが、早めに診断し生物学的製剤やJAK阻害薬を開始することで治療成績がよくなりました。しかしながら診断に時間がかかりステロイド治療が長くなると、筋力が低下しますので生活習慣の改善やリハビリテーションの継続も重要です。

臨床研究

関節リウマチにおける細胞内シグナル伝達阻害剤、新たなサイトカイン阻害剤、複数の新規薬剤の臨床試験に

取り組んできましたが、最新の治療を安全に提供できるよう日々努力を積み重ねております。国立病院機構を中心とした関節リウマチの多施設共同臨床データベース（Ninja）の関連施設として全国レベルでの臨床研究も継続中で、他にも長崎大学リウマチ膠原病内科を中心とした九州地区多施設共同超音波前向きコホート研究および特定臨床研究にも参加し学会発表に協力しております。また当科では患者さんを中心としたチーム医療を心がけておりますが、その中でもリハビリテーション科では関節リウマチ患者さんが罹患しやすい手指関節や足部に対するリハビリテーションの有効性について積極的な学術活動を行っており、最新の医療の提供に努めています。

病診連携

関節痛が全てリウマチ性疾患とは限りませんが、関節の痛みを感じた場合は早めの受診をおすすめします。かかりつけの先生方と連携をとることで個々に合わせた総合診療を提供できる環境作りをすすめていきたいと思っております。すでにご協力を頂いておりますが、今後も関節リウマチをはじめリウマチ性疾患で通院中の患者さんの病診連携を継続していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（リウマチ・膠原病内科部長 高岡 宏和）

『第42回 Shinto公開医学講座』のご案内

テーマ 白血病診療 ～基本から新しい治療まで～

日時 2025年10月16日（木）17:30～

開催方法 ハイブリッド開催（Web参加も可能です）

場所 くまもと森都総合病院 5F 大会議室

参加方法 下記URLもしくはQRコードよりお申し込みください。お申し込み確認後、招待メールをお送りさせていただきます。
(<https://bit.ly/4mXFHRY>)

講師 血液内科 医長 渡邊 祐子





1

外来予約依頼書を当院へFAXをお願いします。

外来予約依頼書を当院地域医療連携室へFAX (096-364-8585) ください。所定書式を準備しております。当院ホームページからダウンロードも可能です。

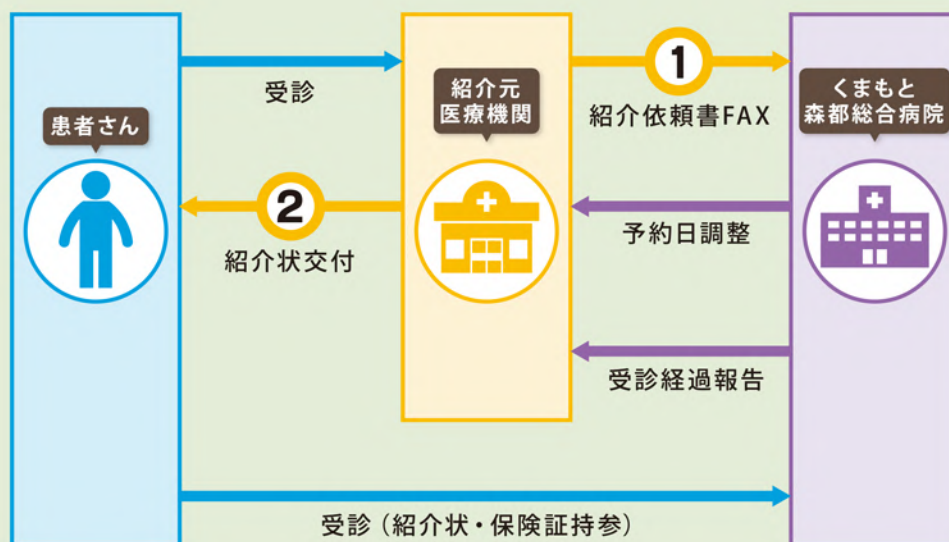
<https://www.k-shinto.or.jp/> トップページ > 医療関係者の方へ > 患者紹介について

2

患者さんへ紹介状をお渡しいたしますようお願いいたします。

受診予定日が決まりましたら貴院へ予約票をFAXさせていただきます。

患者さんに紹介状(診療情報提供書)をお渡しいたし、受診当日にご持参いただけますようご案内をお願いいたします。



紹介予約 (FAX予約) 受付時間

平日9時00分から16時00分まで

FAX送付先 地域医療連携室

FAX 096-364-8585

※受付時間外にいただきましたFAX紹介につきましては、翌診療日に予約調整とさせていただきます。

電話紹介
について

緊急性が高く、当日受診が必要な患者さんのご紹介はお電話にてお願いいたします。

ご不明な点につきましては下記までお電話くださいますようお願いいたします。

地域医療連携室 Tel.096-364-9790 Fax.096-364-8585

外来診療担当医一覧

受付時間

午前 8:00 ~ 11:00 (再来機の受付は7:30より開始) ※急患はこの限りではございません

2025年10月1日現在

		午前/午後	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科診療：午前〔初診及び再診〕・午後〔再診のみ〕							
総合診療科	午前		濱 諒輔 初診	吉田 知栄子	宮村 智裕	吉田 知栄子	宮村 智裕
	午後		宮村 智裕 再診	濱 諒輔			濱 諒輔
呼吸器内科	午前			吉田 知栄子		吉田 知栄子	
	午後				宮村 智裕 再診		
肝臓・消化器内科	午前		藤山 重俊 袖留木 秀人	宮瀬 志保 泉 見奈	藤山 重俊 束野 奈津己	宮瀬 志保 束野 奈津己	袖留木 秀人 泉 見奈
	午後		宮瀬 志保 束野 奈津己 泉 見奈	束野 奈津己 袖留木 秀人	宮瀬 志保 袖留木 秀人 泉 見奈	袖留木 秀人 泉 見奈	宮瀬 志保 束野 奈津己
内視鏡担当	午前		藤原 志保 坂田 宗一郎	藤原 志保 鈴島 仁 宮川 寿一	下村 泰三 渡邊 祐子	藤原 志保 渡邊 祐子	下村 泰三 宮川 寿一
	午後		下村 泰三	渡邊 祐子		宮川 寿一 鈴島 仁	坂田 宗一郎
血液内科	午前		山本 春風	采田 志麻 山本 春風		采田 志麻	山本 春風
	午後						采田 志麻
腫瘍内科	午前		中西 信博		中西 信博	中西 信博	中西 信博
	午後		中西 信博		中西 信博		
循環器内科	午前					井上 秀樹	井上 秀樹
	午後		井上 秀樹				
腎臓内科	午前		井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹
	午後		井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹
透析室	午前		高岡 宏和 初診	高岡 宏和 再診		高岡 宏和 再診	
	午後				高岡 宏和 再診		
リウマチ 膠原病内科	午前					有馬 由佳 (熊大) 再診	
	午後						
代謝・内分泌内科	午後						
外科	午前		横山 幸生 田嶋 儿ミ子	手術	横山 幸生	横山 幸生	田嶋 儿ミ子
	午後		手術 検査	手術	手術 検査	手術 検査	検査
乳腺センター (乳腺外科)	午前		初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診
	午後		大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子	大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子	大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子	大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子	大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子
	手術						
産婦人科	午前		永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠
	午後		片淵 秀隆 (女性相談外来) 手術	片淵 秀隆 (女性相談外来) 手術	手術	片淵 秀隆 (女性相談外来) 手術	永井 隆司 (予約) 検査 岡島 翠
整形外科 (完全予約制)	午前			砥上 若菜 再診	高田 興志 再診		
	午後		担当医 再診				
リハビリテーション科	午前					細川 浩 再診	
眼科 (完全予約制)	午前		草野 雄貴 藤崎 雅彦 松本 光希	草野 雄貴 藤崎 雅彦 松本 光希 (9:30診療開始)	草野 雄貴 藤崎 雅彦 (9:30診療開始)	手術	草野 雄貴 藤崎 雅彦 (9:30診療開始)
	午後		手術	担当医 再診	手術	手術 松本 光希	手術
皮膚科 (完全予約制)	午前		一期崎 優季 松山 恵里奈	池田 勇 松山 恵里奈	池田 勇 一期崎 優季	訪問診療 一期崎 優季 城野 昌義 再診	池田 勇 松山 恵里奈
	午後			手術		回診	手術
緩和ケア科 (外来)	午前			橋口 清明			
緩和ケア面談	-		橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明
腫瘍精神科	午前		木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子
麻酔科 ペインクリニック (完全予約制)	午前		洲崎 祥子 田口 裕之 (術前診療)		田口 裕之 洲崎 祥子 (術前診療)		田口 裕之 田口 裕之 (術前診療)
禁煙外来 (予約制)	午前						田口 裕之
放射線科 (幸秀明・西東葉子)	午前		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	午後		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医